

JPCOAR活動方針原案 2022-2026

オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会
次期中期戦略タスクフォース

加速する学術研究

- オープンアクセスリポジトリに基づく、学術情報の自由でオープンな共有ネットワーク=新しい時代の研究環境に不可欠の基盤
- 「学術論文＋紀要＋博士論文＋研究データ＋a」から、学術研究機関の情報発信をになう統合的ソリューションの中核概念へ
- JPCOARの役割 = 「リポジトリを通じた知の発信システムの構築」（会則第2条）を踏まえ、会員機関のコンテンツの充実支援、システムの整備・運用や我が国におけるオープンアクセス及びオープンサイエンスの推進

会員機関相互の 情報・ノウハウ共有の強化と人材育成

各会員機関が、**個々の特性や置かれている状況**に応じて**細やかな情報交換**を行い、また**業務上必要な研鑽**を積み、人材を育成していくことができるよう、協会はその機会創出を行う。また、協会は、オープンサイエンスに向けた**先進的な取組事例**（海外事例、類縁コミュニティや会員機関自身によるものを含む）の**情報収集・共有化**をすすめ、各会員機関が応用・活用できるようにする。

会員機関が公開する コンテンツの多様化と利活用

協会は、会員機関のリポジトリが擁する**多様なコンテンツ**について、総体として、また、種類ごとに、**収集・管理・保存のノウハウを共有**する。また、各種識別子を含むメタデータの標準化やFAIR原則への対応、流通促進を通じて、会員機関構成員の学術成果の**普及・利活用を促進**することにより、新たな成果につながるようなエコシステムの形成につとめる。

リポジトリシステムの 維持・発展の促進

協会は、**主体的な運営者としての会員機関**とともに、**JAIRO Cloud**を国立情報学研究所と**共同運営**する。また、学術コミュニケーションにおける機関リポジトリが果たす役割について、**NII Research Data Cloudとの円滑な連携**を実現できるように、国立情報学研究所との**連携・協力を進めるとともに、会員機関の声を集約して提言を行う。**

このあとのすすめかた

- 実務担当者の声（あくまで個人の意見です）
+ 意見交換 15分×3
 - 山口美咲（人材育成作業部会）
 - 片岡朋子（コンテンツ流通促進作業部会）
 - 大園隼彦（コミュニティ強化・支援作業部会）
 - 視聴中の方、進行中に、随時ご意見・ご質問をお寄せください
- チャットで[すべてのパネリスト](#)に送信